

CONCIERGE

by Mochimaru shokuhin Co.,Ltd. 20/Feb/2017/vol.433

大分県九重町産 スナックパプリカ ミニパプリカ3色 Mini paprika Small bell pepper

大分県はもともと有名な温泉地を保有していることで有名です。県内ではその強みを生かし、地熱・温泉熱エネルギーを利用し様々な事業に応用していこうという取り組みがなされているそうです。今回ご紹介するこのミニパプリカも科学肥料に頼らず、地熱・温泉熱を有効活用した新しい農業モデルとして立ち上げられたプラントで生産されています。大分県は再生可能エネルギーの自給率が全国1位、供給量が全国2位と、再生可能エネルギーの開発が進んでおり（そのうち地熱発電が約48%）、日本一の地熱発電所が九重町に所在しているそうです。まだそのビジネスは新しくもありますが、すでにモデル事業としての注目度もあって、国内および海外からも視察団が続々と訪れているそうです。パプリカはもともと栽培に必要な最低温度は18℃といわれ、それには一貫した温度管理も必要な野菜です。そこに天然資源を使ったクリーンなエネルギーを応用し、安定した生産を目指して取り組みがなされるのは我々にとっても喜ばしいことでもあります。ランニングコストも低く抑えられると必然的に仕入れの価格も抑えられ安定したご供給も可能となるでしょう。これらの可愛らしい3色（レッド、イエロー、オレンジ）のミニパプリカはそんな環境で育てられています。今度もこのような天然資源の活用で生み出される野菜も増えてくるとの期待が寄せられます。